

日本臨床検査専門医会

平成 30 年度第二回全国幹事会議事録

平成 30 年 11 月 15 日

日本臨床検査専門医会

平成 30 年度 第二回全国幹事会議事録

開催日時：平成 30 年 11 月 15 日(木曜日)12:00～13:20

開催場所：京王プラザホテル 本館 42 階 高尾

出席者：登 勉 会長, 佐藤 尚武, 〆谷 直人 各副会長, 東田 修二庶務・会計幹事,
東條 尚子, 古川 泰司, 宮崎 彩子, 盛田 俊介, 米川 修 各常任幹事,
藤井 聡, 植木 重治, 浅井 さとみ, 久川 聡, 増田 亜希子, 松下 一之, 伊藤 弘康,
木村 秀樹, 中村 文彦, 日高 洋, 横崎 典哉, 橋口 照人, 松井 啓隆 各全国幹事,
佐守 友博, 土屋 達行 監事

欠席者：五十嵐 岳 常任幹事, 長井 篤, 大澤 春彦, 松村 敬久 各全国幹事

事務局：市川 綾子, 松葉 美知代 (敬称略)

定刻, 登勉会長挨拶の後, 議長として登勉会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣した。

[審議事項]

第1号議案 議事録署名人選任について

議長は, 本会の議事録署名人の選出を議場に諮り, 下記の2名を議事録署名人として満場一致で選任した。

議事録署名人：伊藤 弘康 全国幹事, 中村 文彦 全国幹事

[報告事項]

1. 各種委員会報告

①教育研修委員会

米川 委員長より, 以下のとおり報告があった。

1) 第 87 回日本臨床検査専門医会教育セミナー(5 月 20 日(日)実施)

アナウンスに力を入れたが, 結果的には例年並みの参加人数だった。今回は, 新たに「遺伝子検査学講義」を加えた。

3) 日本臨床検査医学会との共催シンポジウムについて

第 65 回日本臨床検査医学会学術集会中の 11 月 17 日(土)9:00-11:00 に開催予定。

タイトル:「新専門医制度元年 一般市中病院での臨床検査専門医の役割」

演者はベテラン・新進気鋭・男女織り交ぜ4名をお願いした。

演者:中村文彦先生(奈良県総合医療センター中央臨床検査部)

「臨床検査専門医不在の総合病院への赴任経験」

村田哲也先生(JA 三重県厚生連鈴鹿中央総合病院中央検査科)

「地域病院における臨床検査専門医の役割」

増田亜希子先生(三井記念病院臨床検査科)

「市中病院の臨床検査専門医としてできること —大学との連携を活かして—」

三好夏季先生(広島市立広島市民病院臨床検査部)

「電子カルテ機能を活用した診療支援の実際」

司会:松尾収二先生(天理よろづ相談所病院), 米川 修 委員長

②情報・出版委員会

盛田 委員長より, 以下の報告があった。

要覧については順調に原稿集まり, ほぼページ数も決まって今年中に発行できる予定。

新年度の「ラボ」誌への継続掲載依頼があり, 担当の福地委員との相談により, 27 項目のテーマ候補を衛生検査所協会に提出, 11 月 21 日の日衛協の広報委員会で検討の予定になっている。

③資格審査・会則改定委員会

東條 委員長より, 以下のとおり報告があった。

- 1) 今年度 32 名の新入会の希望があり, 委員会での審査で全員入会承認されている。
- 2) 第 3 号議案になるが, 2019 年度の名誉有功会員の推薦候補については, 以下の通り。

名誉会員候補(5 名):大田 俊行, 岡部 英俊, 熊坂 一成, 富永 真琴, 宮 哲正(各先生)

有功会員候補(9 名):石原 法子, 浦山 修, 方山 揚誠, 川合 陽子, 坂本 文比古,

戸塚 恭一, 服部 幸夫, 古谷 敬三, 森内 昭(各先生)

前回の常任幹事会では有功会員の推薦候補は 10 名であったが, 1 名から退会通知書の提出があったため 9 名の方が推薦候補となる。

また, 前回の幹事会で, 佐守監事, 土屋監事も名誉会員の条件を満たすが現在現役の監事ということで任期終了後にあらためて推薦するという事になった。

登会長より, 任期終了後ではなく, 任期最終年に推薦, にすると次の年度からは名誉会員になっていただけるので任期最終年に推薦, としてほしい旨発言があった。

名誉・有功会員の推薦については異議なく承認された。

④渉外委員会

×谷 委員長より, 以下のとおり報告があった。

- 1) 第 35 回振興セミナーを 7 月 20 日(金)に東京ガーデンパレスで開催, その際に参加企業にアンケートをとった。振興セミナーの継続, 情報交換会, 参加費, 開催時期は概ね今年通りで実施希望, の回答だった。テーマに関しては, いくつか提案があったが, これから委員会で検討していきたい。また, お手伝いの可否については可能, と回答があったところが数社あり, 今後持ち回りでお願いしていきたい。

⑤広報委員会

五十嵐 委員長に代わり、東田 庶務・会計幹事より以下の報告があった。

1)レジデントノートについて

初期臨床研修医の臨床検査医の認知度向上を目指し、レジデントノートに記事を掲載し、今年で3年目になる。継続予定。

2)8月19日に第2回若手のためのハンズオンセミナーを開催、医学生5名、初期研修医7名の参加があった。

3)学術集会でのワークショップ企画は、他の科から検査部への転科を考えている医師たちへの情報提供をする。

4)振興協議会の広報と合同で子ども霞が関見学デーが開催された(8/1に参加協力。450名の子どもたちが検査を体験した)。

今後の活動予定としては専門医会として Facebook を開設し、他の科から転科を考えている医師たちへの情報提供を考えている。また、全国紙への連載をもち、臨床検査医の認知度向上を目指した情報記事を出していきたい。

増田全国幹事より、Facebook 以外での情報発信の方法もあるのではないか、と考えている旨発言があった。

登会長より、現在ホームページに新着情報がタイムリーに掲載されているのか、委員会の活動報告も順次掲載されるとよいのではないかと、また、情報をどのように保護しながら伝えていくのかを議論した方がよいと考えている旨発言があった。

⑥保険点数委員会

古川 委員長より、以下の報告があった。

1)内保連第1回社員総会報告(2018/6/26)

平成30年度社会保険診療報酬改定の総括として、平成30年度医療技術評価提案書(既記載)改定結果は、当会の要望19項目に対し、要望通り3項目、一部反映7項目で、全体の比率は悪くなかった。臨床検査医学会からの提案は、全部で20数個のうち要望反映が10項目、とこちらも同じだけ反映された。

2)次期改定に向けて、今回の改定において矛盾したところがあったかどうかの調査があった。臨床検査医学会とも共同で、輸血関連の点数で、検査と輸血の加算で違う点数がついているという点を調査依頼中。

今年度末の改正医療法の検討に関しては、改正にかけて医療法の改正に関与してどの程度の提案ができるのか、明日の委員会以降の議論になる。

3)会員アンケートについて:内保連で診療報酬改定に関してはAIの技術を使った点に関して重点をおいて提案していくことになった。専門医会からは遺伝子検査パネルにおいて統合

データベースを使う場合 AI 診断につながるということで加算につながらないか、という提案を報告した。振興協議会内で共同のリストを作る際、専門医会からは 12 項目挙げている。検査医学会からは 17 挙げ、6 協会でトータル 100 を超える提案がある、これに順位付けをして提案リストを作っていく、というのが今後の仕事になる。

4) 免疫電気泳動に関する会員アンケート

今回の診療報酬で対応がなされた免疫電気泳動関連の、その後の調査を企画しているがコスト調査を臨床検査学会、専門医会両方で行う必要があるのでまずはそちらを優先し、その後免疫電気泳動に関するアンケートになる予定。

5) 保険点数委員会 副委員長に松下一之先生就任の報告

今般遺伝子関連の検査が増えてきており、それに対応できるよう、松下一之委員に副会長就任をお願いした。登会長にも了承いただいた。

⑦ ネットワークシステム委員会

宮崎 委員長より、メールシステムの不具合の確認のため、9/16 にテストメールを配信した旨報告があった。また、Q&A システムの活用のため、幹事の先生方には、新たな質問が出た場合には率先して回答の書き込みをお願いしたい旨依頼があった。

登会長より、今後の方向性について一度じっくり議論したほうがいいのではないかと考えている。また、だれもがネットでさかんに検索する昨今の事情に合うよう、専門医会からは信頼度の高い情報を発信していくようにしたい旨発言があった。

2. 「全国検査と健康展」状況

〆谷 副会長より、以下の通り報告があった。

10 月 7 日の神戸会場を皮切りに全国 20 会場で実施中。今年の本会場は東京まで終了。日臨技の担当理事には学会会期中と日程が重ならないよう配慮をお願いした。来年の本会場は秋田になる。引き続きご協力をお願いしたい。

3. 平成 30 年度第 2 回総会講演会(11 月 15 日午後 1 時半～:総会、午後 2 時～:講演会)

佐藤 副会長より、この会終了後以下の内容で開催予定であること、この講演会は指導医講習の認定を受けている旨報告があった。

演題:「今、臨床検査医・指導医に求められるもの」

講師:熊坂一成先生 追加発言:宮地勇人先生, 奥住捷子先生

4. 第 29 回日本臨床検査専門医会春季大会(広島)

横崎 全国幹事(第 29 回春季大会大会長)より、当初の日程では病理学会と重なっていることがわかり、2019 年 5 月 31 日～6 月 1 日に日程変更、内容は 8 つのセッションを予定しており、専門医の更新単位に申請予定、指導医講習会も企画している旨報告があった。

5. 日本臨床検査医学会専門医・管理医審議会(第2回・9月1日)報告

佐藤 副会長より、以下の通り報告があった。

- ・管理医の試験日程を今年は専門医試験と同日にした。合格者は管理医試験 39 名, 専門医試験 16 名。専門医試験の合格判定会議では, 判定基準について議論があった。
- ・試験の会計報告があり, 承認された。
- ・新専門医制度では大都市圏, 特に東京が問題になり, 募集定員を制限する, ということが厳しく義務付けられているが, 臨床検査領域には募集に関して特に制限はない。
- ・管理医・専門医の単位認定に関して, 参加する学会によって一致していないことがあり, 整合性をはかる調整を進めている。

6. 臨床検査医学教育アンケート調査中間まとめの報告

登会長より、以下の通り報告があった。

アンケートにはほぼ全国の大学から回答いただいた(国立:33, 公立:7, 私立他(防衛医大含む):26)

アンケートの5つの項目のうち、教育体制については、

講座として残っているもの:現状 国立20, 公立1, 私立他18で、傾向としては講座から病院検査部に、一部は専門分野に流れるという傾向がある。3年後に再調査すると、より傾向が明確になってくるだろうと思われる。

教授ポストについては、講座をなくして他の専門分野、検査プラス他の専門分野のポストに、という流れが見られる。教員数は集計がむずかしく、臨床系の講座でその一部が検査医学講座というようなところは教員の数が多い。全体としては5-10人の区分が多い。人数をどう評価するのか難しいが、国立と私立では配置される人数も違いがあるように見える。常勤数で見ると、1-4人の区分が多く、5人以上いる所は恵まれている。臨床検査医数はゼロのところもあり、他の専門の医師が在籍する施設では病理、感染症が目立つ、内科ももちろんベースとしてある。

最終的な報告としては、JACLaP NEWS にいくつかの回に分けて掲載していきたいと考えている。

[審議事項]

第2号議案 2019年度予算案について

議長は、東田 庶務会計幹事に平成30年度会計中間決算について説明させた。

- ・収入については毎年未納会員が1割くらいいる。賛助会員は来年度は35社の予定。
- ・振興セミナー参加費は、金額を下げたため収入減になったが、来年はセミナー参加費、懇親会参加費をそれぞれ1,000円として徴収予定。
- ・支出の予算については、今年度とほぼ同額を予定している。要覧は来年度は予算なし、振興セミナーについては抑える努力をしたが会場利用上大幅な減額は無理なので今年と同額を計上した。

本件について議場に諮ったところ、満場一致で承認された。なお、中間決算および収支報告書については資料1として本議事録章末に掲載する。

第3号議案 名誉会員・有功会員推薦について

上記の名誉会員候補5名と有功会員候補9名について、異議なく承認された。

第4号議案 謝礼・交通費に関する規程について

議長は、東田 庶務会計幹事に謝礼・交通費に関する規程について説明させた。

- ・現状を文書化した（資料2）。講演会の謝礼については、そもそも会員が会の講演で話したことに對して、現金で払うのはおかしいのでは、という考えがある。臨床検査医学会でも現金の謝礼を払う、ということはない。今回の総会講演会については三役会で話し合い、5000円のクオカードを渡すこととなった。

本件について議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

第5号議案 功労会員の資格に関する会則改定案

議長は、東條尚子資格審査・会則改定委員会委員長に会則ならびに細則の改定（資料3）について説明させた。

- ・数年前から満70歳になった正会員には有功会員の称号を授与してきた。昨年、満70歳の方が入会し、前回常任幹事会で、有功会員への推薦には一定期間の会員歴が必要ではないかという議論があり、委員会で審議した結果、改定案として10年以上の会員歴のある正会員、との文言を追加する案を提出する。委員会では5年、という意見も少数あった。この場合の10年の会員歴は、10年分（連続）の会費を払った、ということの意味する。

本件について議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

議案の審議終了後、2020年春季大会大会長 橋口全国幹事より、現時点で2020年5月15日、16日の日程で開催を予定している旨発言があった。

佐守監事より、今回の医療法の改正については検査所の立場から問題点を感じるが、学会等からもっと我々の意見を厚労省に伝えてもよいのではないか、と考えている旨発言があった。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 30年 12月 28日

伊藤 弘康

平成 31年 1月 16日

中村 文彦

2019年度予算案							
	項目	2018年度予算	2018年度決算 (中間報告)	2019年度予算案	備考		
収入欄	入金	会員会費	6,535,000	5,720,000	6,575,000	注1	
		賛助会員会費・寄付金	3,700,000	3,500,000	3,500,000	注2	
		小計	10,235,000	9,220,000	10,075,000		
	その他	広告収入	400,000	250,743	200,000	注3	
		教育セミナー参加費	400,000	440,000	400,000		
		生涯教育講演会参加費	150,000	216,000	200,000		
		振興セミナー参加費	100,000	54,000	60,000	注4	
		利息	3,000	865	1,000		
		小計	1,053,000	961,608	861,000		
	入金合計		11,288,000	10,181,608	11,036,000		
支出欄	庶務費	事務所維持費	1,700,000	1,464,768	1,700,000		
		人件費	1,650,000	1,250,940	1,750,000		
		設備費	50,000	27,664	50,000		
		電話・FAX使用料	60,000	45,067	60,000		
		通信費(事務局)	170,000	120,103	170,000		
		事務局雑費	150,000	93,445	150,000		
		小計	3,780,000	3,001,987	3,880,000		
	事業費	印刷代	2,000,000	983,924	2,000,000		
		要覧印刷代	500,000	0	0	注5	
		通信費	800,000	272,743	800,000		
		春季大会補助金	500,000	500,000	500,000		
		臨床検査振興セミナー費	850,000	850,306	850,000	注6	
		教育セミナー費	650,000	662,463	650,000		
		会議費	1,000,000	595,280	1,000,000		
		交通費	100,000	25,840	100,000		
		宿泊費	30,000	13,148	30,000		
		原稿料	50,000	0	50,000		
		専門医ネットワーク維持費	100,000	0	100,000		
		HP維持費	170,000	0	170,000		
		広報活動費(委員会HP)	50,000	27,000	50,000		
		JCCLS会費	50,000	50,000	50,000		
		WASPALM会費	55,000	0	55,000		
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	300,000		
		内保連	200,000	200,000	200,000		
		予備費	103,000	0	251,000		
		小計	7,508,000	4,480,704	7,156,000		
		出金合計		11,288,000	7,482,691	11,036,000	
		収支決算		0	2,698,917	0	
		(2018年10月31日時点)					
		注1：2019年は会員(1万円)615名、有功(5千円)85名、名誉(免除)42名の見込み。例年70名ほど未納。					
注2：大阪健康倶楽部が退会、1件未納。							
注3：2018年は要覧発行時に広告収入の上乗せがある。							
注4：2018年度は参加費を4,000円から1,000円に減。2019年は参加費1,000円+懇親会費1,000円にする。							
注5：要覧代金は2018年12月に支払い予定。							
注6：2018年度実績より(減額に努めたが、これ以下には抑えられず)							

謝礼・交通費に関する規程

1. 謝礼

春季大会の生涯教育講演、総会、振興セミナーの講演

会員以外に依頼した場合は 50,000 円＋交通費

専門医会会員は 5,000 円の商品カード（振興セミナーは交通費あり）

教育セミナー

講師料 15,000 円＋交通費

合格体験談 12,000 円＋交通費

非会員の会場係などの手伝い 10,000 円＋交通費

2. 交通費（常任幹事会を含む）

東京、神奈川、千葉、埼玉は一律 3,000 円（これを超えた場合は実費）

上記以外は事務局で調べた交通費（鉄道の運賃、特急・急行券。グリーン料金は含まない。

航空券の場合は領収書等を提示し実費）に 2,000 円を上乗せ

春季大会、学術集会に合わせた会議は交通費なし

振興セミナーの座長（専門医会役員が担当）は交通費あり

2018 年 11 月 15 日 三役会にて作成

2018 年 11 月 15 日 全国幹事会にて承認

有功会員の資格に関する会則改定案対応表
会則

現行	改定後
<p data-bbox="225 719 384 757">第 8 条 2</p> <p data-bbox="225 813 778 1133">有功会員の称号は、満 70 歳を過ぎた正会員であり、本会に貢献をした者で、幹事会が推薦し、総会で承認を得た者に対して授与する。</p>	<p data-bbox="807 719 967 757">第 8 条 2</p> <p data-bbox="820 813 1369 1227">有功会員の称号は、満 70 歳を過ぎた正会員で <u>10 年以上の会員歴</u>があり、本会に貢献をした者で、幹事会が推薦し、総会で承認を得た者に対して授与する。</p>